

平成30年度 学校経営全体計画（グランドデザイン）

<学校教育目標>

障害に基づく困難を改善・克服して、自立し、主体的に社会参加するために必要な資質や能力を育成する。

- 学習意欲や基礎学力の向上
- 豊かな情操や社会性の育成
- 健康の増進と体力の向上
- 言語生活の拡充

年度重点目標

- 基礎・基本の定着と考える力の育成 (知)
- 社会のルールやマナーの理解と思いやりの気持ちの育成 (徳)
- 自己の健康管理と運動への積極的な取組 (体)
- 状況に応じたコミュニケーションの力の育成 (コミュニケーション)



学校経営の基本方針

- 教職員と子どものお互いのコミュニケーションが円滑に行われるように努め、つなげる、伸ばす、高める教育実践を行い、学校教育目標の具現化を目指す。
 - 1 一人一人の教育的ニーズを的確に把握し、それに基づいた確かな教育実践に努める。
 - 2 教職員が学校課題を共有し、その解決に向け研修に努め、チームによる取組を推進する。
 - 3 家庭、地域、関係機関と連携した教育を推進する。
 - 4 特別支援教育のセンター的機能の充実に努める。

年度の重点的な取組の視点

- 本校も、分教室も、分校も、活躍する子どもと教職員の姿を、積極的に地域へ発信する一年にする。

重点1 多様な障害に対応した確かな教育実践

- (1) 学びの保障「学ぶ楽しさ、分かる喜び、できる喜び」を目指す授業改善
- (2) 学習指導要領への対応、手話普及条例の取組、専門性向上、研修の充実

重点2 地域や関係機関と連携した教育の実践

- (1) 現場実習、就労・進学等、進路指導の充実
- (2) WinWinの関係づくり「園校等との交流、資源活用と地域貢献」

重点3 地域における特別支援教育のセンター的機能の充実

- (1) 乳幼児教室、教育相談・支援の充実
- (2) 学校参観、オープンスクール
- (3) 手話普及条例の取組、研修会場の提供等
- (4) 地域のニーズをリサーチし、戦略を考え、地域を動かす
- (5) NPO事業、福祉、医療、大学等との連携、ネットワークづくり



<学校教育の重点> H 30（県教育委員会より）

「地域の特色を生かし、地域とともに歩む学校づくり」

- 1 授業改善
「主体的・対話的で深い学び」の実現
一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援
- 2 道徳教育、特別活動、人権教育・同和教育
いじめをしない、許さない、命を大切にす意識の醸成



<地域や保護者の願い>

- 個々の幼児児童生徒の教育的ニーズに応じた指導
- 地域や保護者、関係機関と連携した教育活動
- 地域の幼児児童生徒への支援
- 障害にかかわる理解啓発